

客貨分離貨物削減の大巾修正を実現！ 粉碎と軸に

55.10
ダイ改交渉
速報

35万人体制粉碎・563ジェット輸送延長阻止へ、更に追いこんでいこう！

55.10ダイ改阻止の叩きは、動労千葉申才川号をもって、今日まで連続交渉の強化をはかる中で当局への激しい追求、追い込みを行ってきた。同時に来年三月のジェット延長攻撃を許さぬ決意で叩きの強化をかちとってきた。拒否の叩きを展開した電車区取場、快速15両化事前作業・訓練問題を軸に非協力・拒否の叩きを基礎に大きく当局を追い込んできた。

「55.10↓563勝利！客貨分離粉碎！」をスローガンとする動労千葉の叩きの前に追いつめられた国鉄当局は、九月十九日、先の貨物削減に際する当局提案を大巾に修正せざるをえない所に追い込まれたのである。ゆれゆれは、563ジェット燃料輸送延長の要員生み出しの悪らつな意図をもった国鉄当局の攻撃を、その緒戦においてつき崩す突破口をきりひらいたのである。

**全支部の力で当局を
鋭く追及！**

九月十九日、十時半より行われた団体交渉は、貨物問題一点に絞っての各支部の怒りが当局に叩きつけられた。

①貨物量の減少だとか赤字だとかの理由で大巾な列車削減を押しつけてきている当局は、一方で荷主ばなれを助長し運用効率の高い列車を切るなどの施策をとっている。②明らかに公共性を無視し、当局の説明自身が矛盾している。結局「35万人体制」から逆算した削減のための削減である事は明らかだ。③結局、当局の最大の狙いが来年三月のジェット輸送延長のための要員生み出しであることは明らかであり言語道断である。④杣岡車取場の将来をどう考えるのか、などを軸に鋭い追及がなされた。

杣岡車仕事、その他で11名の要員バックかちとる！

このような組合側の断固たる主張と

日刊
動労千葉

80.9.22
No.539

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄）二五八・九（公衆）三三三・二七〇七

闘争態勢の中でゆきづまった当局は、最終的に左記の内容の「要員削減数の大巾修正」バックににせざるを得なくなつた。

区名	削減提案 の削減 当局的 削減	修正(要員バック)提案			
		計	予備	休業 非公 休非	仕業
新小岩	△17名	3名		1名	2名
蘇我	△3				
佐倉	△15	6	1	1	4
成田	△3	2	1		1
勝浦	△1				
合計	△39名	11名	2名	2名	7名

※なお新小岩入換杣の取扱ひ及び復元列車（キロバック）については、今後9/22以降具体的に引き出すこととした。

※また検修関係については、佐倉、新小岩とも当局提案に対して各一名づつの要員バックをかちとった。

35万人体制粉碎・ジェット輸送延長阻止へ！更に前進しよう！

一四〇〇名一丸となって勝ちとった地味をかまえ、更に秋の叩き、563勝利へとつき進んでいこう。